

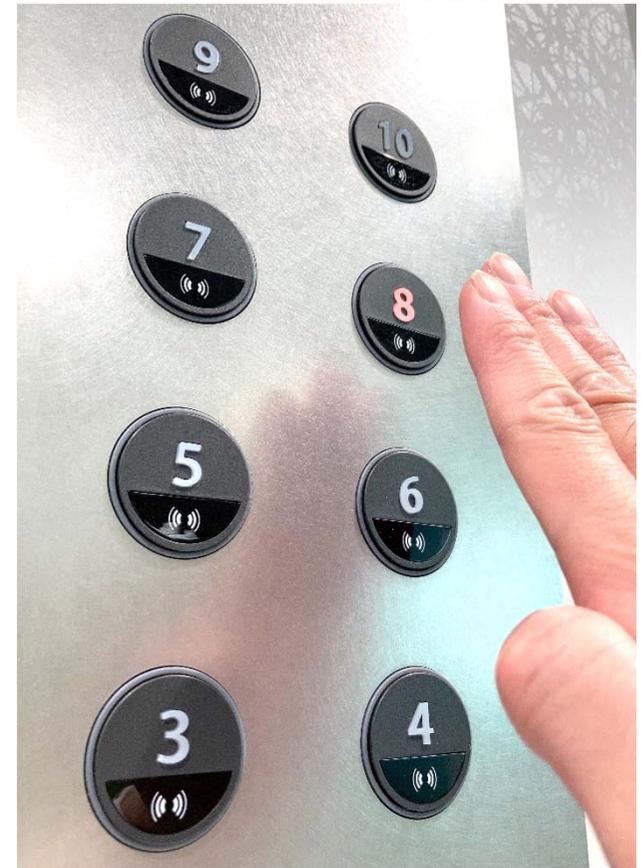
FUJITEC

2022年3月期 第3四半期 連結業績概要

2022年2月8日

フジテック株式会社

(東証一部 : 6406)



GOOD DESIGN
AWARD 2021

【2022年3月期第3四半期の概況】

- 第3四半期は、前年同四半期比 増収増益。売上高は1,370億41百万円（10.5%増）、営業利益は120億51百万円（20.1%増）
- 受注高は1,438億85百万円（11.9%増）
- 全セグメントで増収増益。新設・アフターマーケット事業ともに好調で、受注・売上が増加

【2022年3月期の業績予想】

- 従来予想から、売上高・利益ともに上方修正。売上高1,860億円、営業利益141億円を想定
- 配当金は、連結業績修正予想を踏まえ、期末10円増額の年間70円に増配

【トピックス】

- エアータップ（エレベータ非接触ボタン）が好調。最新の新規採用率は90%を超える。新設・既設ともに住宅・商業施設を中心に新生活様式の需要が拡大
- エレベータの新リニューアルメニューを販売開始。アフターマーケット事業のラインナップを拡充

第3四半期 業績ハイライト

FUJITEC

- 第3四半期連結決算は、前年同四半期比 増収増益
- 新設・アフターマーケット事業ともに堅調な売上。営業利益は前年同四半期比20.1%増

(単位：百万円)

	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	前年同四半期比(%)
売上高	123,987	137,041	+10.5
国内	50,185	52,639	+4.9
海外	73,801	84,402	+14.4
営業利益	10,037	12,051	+20.1
経常利益	10,920	13,618	+24.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,098	9,843	+38.7
1株当たり四半期純利益	87.55円	121.22円	—

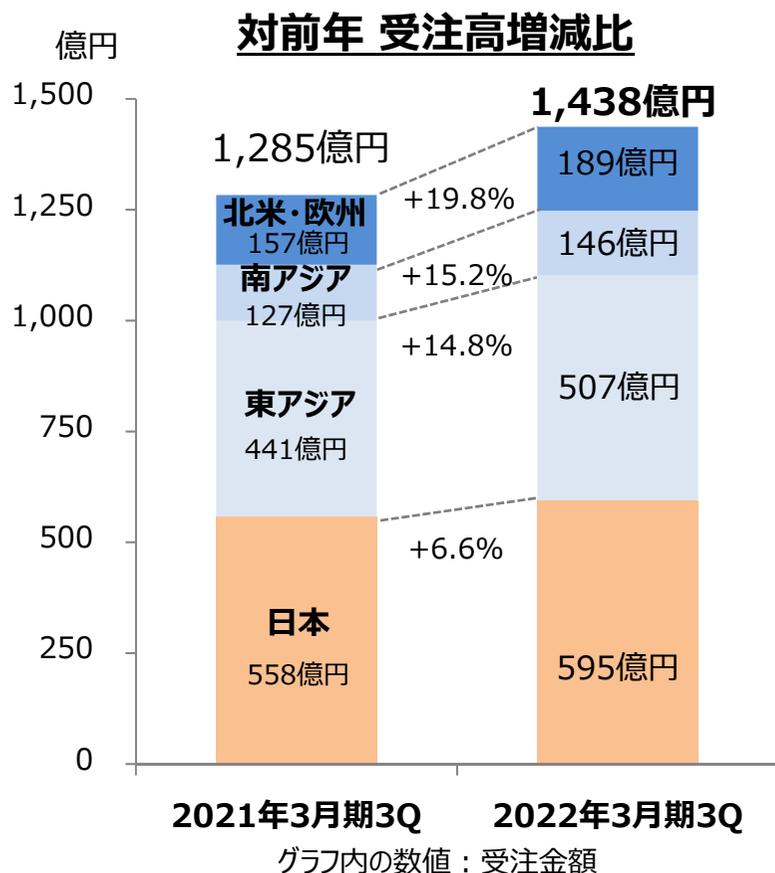
対米ドル円為替レート

107.66円

108.18円

第3四半期 受注高

• 受注高は、前年同四半期比 11.9%増。国内・海外ともに受注が堅調



【国内】595億48百万円(前年同四半期比 6.6%増)

- 新設事業
 - 大型案件の受注が続く
- アフターマーケット事業
 - モダンゼーション工事で大型案件を受注
 - 保守は、高い契約率を維持し、引き続き堅調に推移

【海外】843億37百万円(前年同四半期比 16.0%増)

- 新設事業
 - 中国で増加
 - 南アジアはシンガポール・インドネシアで減少、インドで増加
- アフターマーケット事業
 - シンガポールで増加
 - 米国・カナダで修理・モダンゼーション工事が増加

第3四半期 セグメント別業績

FUJITEC

- 全セグメントで、増収増益
- 新設・アフターマーケット事業ともに売上が増加。生産の自動化・IT活用による採算性の向上などが営業利益に貢献

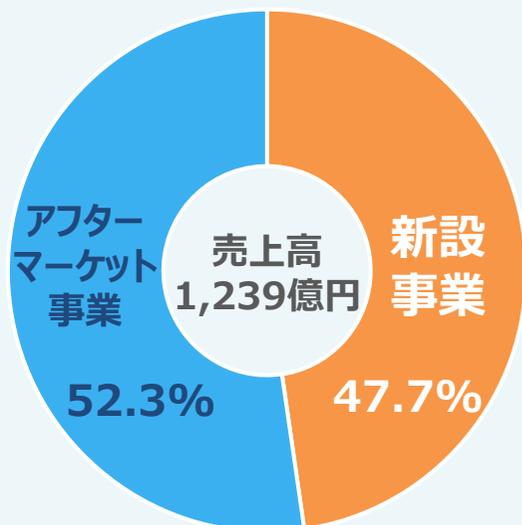
(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	増減(%)	2021年3月期 3Q	2022年3月期 3Q	増減額
日 本	52,139	54,638	+4.8	3,240	4,021	+781
東 ア ジ ア	50,846	58,103	+14.3	4,690	5,111	+421
南 ア ジ ア	10,269	12,332	+20.1	1,787	1,941	+153
北米・欧州	17,468	19,763	+13.1	347	1,024	+677
小 計	130,723	144,838	+10.8	10,065	12,099	+2,033
調 整 額	△6,735	△7,796	—	△28	△47	△18
合 計	123,987	137,041	+10.5	10,037	12,051	+2,014

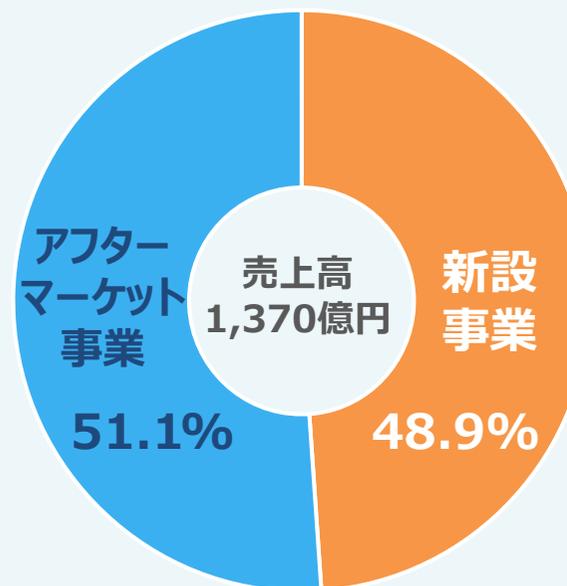
事業別の売上高構成比率

- 堅調なアフターマーケット事業に加え、新設工事の需要回復で、事業の比率がほぼ均等に転じる

2021年3月期3Q



2022年3月期3Q



今期の従来予想を上方修正

FUJITEC

- 連結業績は、売上高・利益ともに上方修正。前期比 増収増益を想定
- 売上高は1,860億円で最高を更新。営業利益は主に国内で改善が大きく進む

(金額単位：百万円)

	2022/3		増減率(%)	2021/3 (参考)
	前回発表予想	今回修正予想		
売上高	184,000	186,000	+ 1.1	169,573
営業利益	13,900	14,100	+ 1.4	13,288
経常利益	14,400	15,400	+ 6.9	14,633
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,300	11,000	+ 18.3	9,287
1株当たり当期純利益	114.68円	135.46円	—	114.52円

配当金は年間70円に増配

- 当期期末配当は、1株当たり10円増額し、年間配当70円に増配予定
- 株主還元強化として、当期期末の配当性向予想は、51.7%

(単位：円)

	2022/3		増減額	2021/3 (実績)
	前回発表	今回発表		
配当金	60	70(予想)	+10	60
中 間	25	25	—	20
期 末	35	45(予想)	+10	40

エアータップの新規採用率は90%

FUJITEC

- 新生活様式のニーズ拡大により、新設でのエアータップ採用率は9割を超える(2021年12月)
- 住宅・商業施設で設置が広がり、既設エレベータでも採用が進む



エアータップ (エレベータ非接触ボタン)

【特徴】

- タッチレスでエレベータを操作できるため衛生的
- ボタンに触りたくないといった心理的障壁を技術とデザインで解決
- 直感的で人にやさしい新しい操作方法



GOOD DESIGN
AWARD 2021

2021年度グッドデザイン賞を受賞

新しい時代にふさわしいエレベータ・エスカレータで、
美しい都市機能の実現を目指す

エレベータの新リニューアルメニュー販売開始

FUJITEC

- エレベータの標準仕様に特化した、新たなパッケージ商品を開発
- 生産プロセスを見直し、リードタイムの最大約40%短縮とコストダウンを追求

- 安全な運行に重要な駆動系、制御装置の交換で、エレベータの基本機能の向上を図るパッケージメニュー
- 制御機器の交換でエアータップ(非接触ボタン)、リモート自動点検、地震時リスタート機能*など最新機能が追加可能

*地震の揺れが収まった後に、安全を確認して最寄階に移動する機能

対象機種：

1980年から97年の機械室あり標準型エレベータ



リニューアル商品のラインナップ拡充で
アフターマーケット事業のさらなる拡大を目指す

FUJITEC

FUJITEC

参 考 資 料



クリエイティブスタジオ 東京（東京都港区）

第3四半期連結バランスシート

FUJITEC

(単位：百万円)

	2021/3末	2021/12末	増減額	備考
流動資産	149,393	161,776	+12,383	
現金及び預金	68,348	73,571	+5,222	日本での減少、東アジアでの増加
受取手形、売掛金及び契約資産	59,022	66,456	+7,433	東アジアでの増加
棚卸資産	19,247	16,142	△3,104	
その他	5,150	8,696	+3,545	
貸倒引当金	△2,375	△3,089	△713	
固定資産	55,803	56,650	+847	
有形固定資産	33,786	34,408	+621	設備投資+2,526 減価償却△2,233 為替ほか+328
無形固定資産	4,680	4,784	+104	
投資その他の資産	17,336	17,458	+121	
総資産	205,196	218,427	+13,230	
流動負債	74,152	75,405	+1,252	電子記録債務△1,418 未払法人税等△1,660 支払手形及び買掛金+2,829 短期借入金+716 工事損失引当金+797
固定負債	5,778	5,486	△292	
純資産	125,264	137,535	+12,270	親会社株主に帰属する四半期純利益+9,843 配当金△5,298 収益認識基準等+140 為替換算調整勘定+5,525 非支配株主持分+1,436
自己資本比率	54.8%	56.4%	+1.6pt	
B P S	1,385.45円	1,516.13円	+130.68円	

主な受注・完成実績



新設工事

モダンゼーション工事



250 South Street
(米国・ニューヨーク)
エレベータ12台



蘇州市地下鉄5号線
(中国・蘇州)
エレベータ117台



NBF池袋タワー
(日本・東京)
エレベータ3台



Battersea Power Station
(英国・ロンドン)
エレベータ14台

会社概要

FUJITEC

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数85,300,000株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：9名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 10,605名（単独 3,152名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年2月8日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2022年2月8日

フジテック株式会社

2022年3月期 第3四半期連結業績概要

